

# わんぱく学園ニュース

平成 15年 5月 No.95

菖蒲月…

5月も半ばとなりました。この『わんぱく学園ニュース』を大変失礼していただきましたことお許し下さい。

事務局である私(T)が“ポー”としており、きっと多くの皆さんは「一体5月のわんぱく便りは?…」と気を病んでいらっしゃったことと思います。え～“言い訳は大人気ない!”と申しますが……、その大人気ないことを敢えて述べさせて下さい。

新聞紙上や風の便りでご存知の方もいらっしゃるのではないかと思います。実は私は障害者を持つお父さんお母さんそして共同作業所の元職員の方と知恵を出し合い、障害者雇用と生きがいつくりの場の創出に向け、『自立の会～みずわ～』という任意団体を立ち上げました。

そこで、とりあえず5月3日(土)～5日(月)の3日間、宍道湖ネイチャーランドの一角にある宍道湖公園多目的棟(休憩所)を利用し、手始めに『ショップ～みずわ～』をオープンしました。私たちが住むこの平田市にある地域の社会資源・人的資源を有効に活用させていただきながら、障害を持つ人の自立支援や地域交流事業を進め、地域生活に必要なのに欠けている支援についてつくり出していこうと、ちょっぴり、いや多めに力を注いでいました。炭焼きコーヒーやジュースの喫茶コーナーや平田市物産協会の協力を得、市の特産品を販売したり、また久多美の南目農園さんからご寄贈いただいた花の苗(200本)の即売もいたしました。支援を要する方々自ら汗を流し、充実感・達成感を共に味わうなど心地よい3日間でした。そして嬉しいことに3000名近い人々との出会いもあり、色々なドラマも生まれました。

この間、市当局をはじめホシザキグリーン財団などの力強いお力もいただき、お陰様にて無事終えることが出来ました。

今回の試行を終えた今、私は障害者雇用の場づくりに向け、『障害を越え自立へと踏み出せるような環境をつくりあげることの大切さ』を痛感しています。本人との関わりを通して喜び・悲しみ・驚き・苦しみなどを、本人・家族・施設・地域が共感し合える日々をつくることで、地域の人とのつながりが生まれ広がっていき、地域で支える何か(組織)がポチポチ出来るのでは?と思います。私の大切な友人が励ましてくれました。「熱い志は、人の心を動かすものだよ!」……と。友人の言葉に押され、ようやくスタートに立った私…“やればやるだけ次の課題が見えてくる”と…。

老若男女誰もがひとりの人間として、自分らしくかけがえのない存在として、共に生きる街づくりをしたいものですね!!。(T 記)

◆5月・6月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

5月4・11日	お休みにしました(ごめんなさい…)
18日	Tシャツ・ハンカチに絵を描いてあそぼう (榎野良樹副校長ギャラリー“ミチル”) のびのび画家さんに…変～身!!
25日	楽しくお喋りしながら、粘土コネコネしてあそぼ! (安食ひろ校長工房…口宇賀町) 塩ゆうわん?に負けないよ～宇宙人コップだぞ!
6月 1日	お休みにします
8日	魚釣り(猪目海岸付近)(何でも達人 飯塚真澄顧問) 釣竿持っている人は、持って来てね。餌は学園で
15日	心の中爆発させ、楽しい絵を描いて遊ぼう! (榎野副校長ギャラリー“ミチル”)
22日	粘土コネコネまるまるしてあそぼ! (安食ひろ校長工房“ひろ工房”)
29日 =開か洗= 孫 原幸枝姓	皆さ～ん含蓄のあるお話を聴いてみませんか?! 《神山五郎先生の講演会と吃音を語る会》 会場：斐川町中央公民館(斐川町役場隣) 日程：10時30分～ 会費：300円

・集合時間 9時15分・集合場所 光人塾前駐車場(学園の隣か洗土江62-2667)